



エシカル消費 興味持って 徳島市高生 4こま漫画に

エシカル(倫理的)消費に関心を持ってもらおうと、徳島市立高エシカルクラブの生徒が4こま漫画の冊子を作った。写真。近くの小中学校や県内の子ども食堂に500部を配り、啓発を図る。

啓発冊子500部 小中校に配布

A4判、18ページで、17作品を掲載。ドイツでは日本よりもエシカル消費の取り組みが進んでいると留学生から教えられ、生徒がショックを受けた実体験をはじめ、海に捨てられたストローなどのプラスチックごみが生き物に影響を与えている現状を伝えている。

適正価格での取引(フェアトレード)により、開発途上国の生産者の生活が安定すると紹介している作品もある。

クラブは昨年4月、2、3年生10人余りで発足した。エシカル消費を学ぶ中で、漫画での啓発を思い付き、全校生徒から作品を募集。25点の中から、メッセージ性の強い作品など17点を選んだ。

漫画を基にした紙芝居も作る予定。2年の椎野朝香部長(16)は「短時間で読めるので、普段の生活の中でエシカル消費を意識するきっかけにしてほしい」と話している。

(石川浩行)